

薩摩川内市地域公共交通の 現状と取り組み



平成30年2月20日
薩摩川内市 商工観光部 交通貿易課

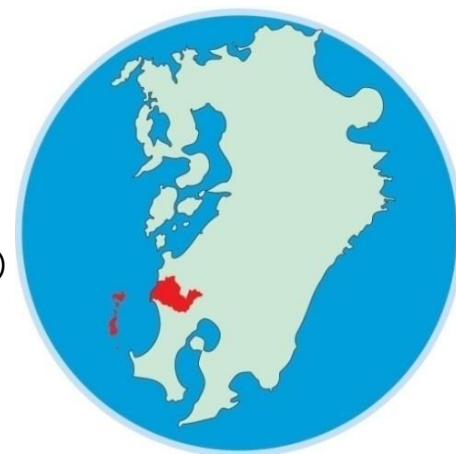


見出し

- 1 薩摩川内市の概要
- 2 地域公共交通の現状
- 3 地域公共交通網形成計画
- 4 網計画策定後の取り組み

1 薩摩川内市の概要／市全体

- ① 位置 薩摩半島の北西部
- ② 人口 96,076人（H27国勢調査） ※ H22比 △3.5%
- ③ 面積 682.92km² ※ 県内1位、九州5位
- ④ 自然公園 国定公園（甕島）、県立公園（川内川流域、蘭牟田池）
- ⑤ 特徴 川内原子力発電所（1号機、2号機）の立地自治体



■新幹線さくら・つばめ

博多駅～川内駅 **最速71分**

■JR（在来線）

川内駅～鹿児島中央駅 約50分

■肥薩おれんじ鉄道

川内駅～八代駅 約2時間30分

■自動車

薩摩川内市～鹿児島空港 約70分

■飛行機

東京～鹿児島空港 約95分

大阪～鹿児島空港 約65分



1 薩摩川内市の概要／甕島

- ・トンボロ、鹿島断崖など、変化に富んだ自然景観を有し、平成27年3月国定公園に指定

- ・キビナゴ、タカエビ、養殖マグロなど水産資源が豊富

- ・平成27年4月から2年間、日本テレビ「幸せ！ボンビーガール」柴田美咲さんの地域おこし協力隊としての甕島活動企画を放映

- ・中甕島と下甕島を結ぶ「蘭牟田瀬戸架橋」1,533mを建設中
※ 平成32年度中の完成予定

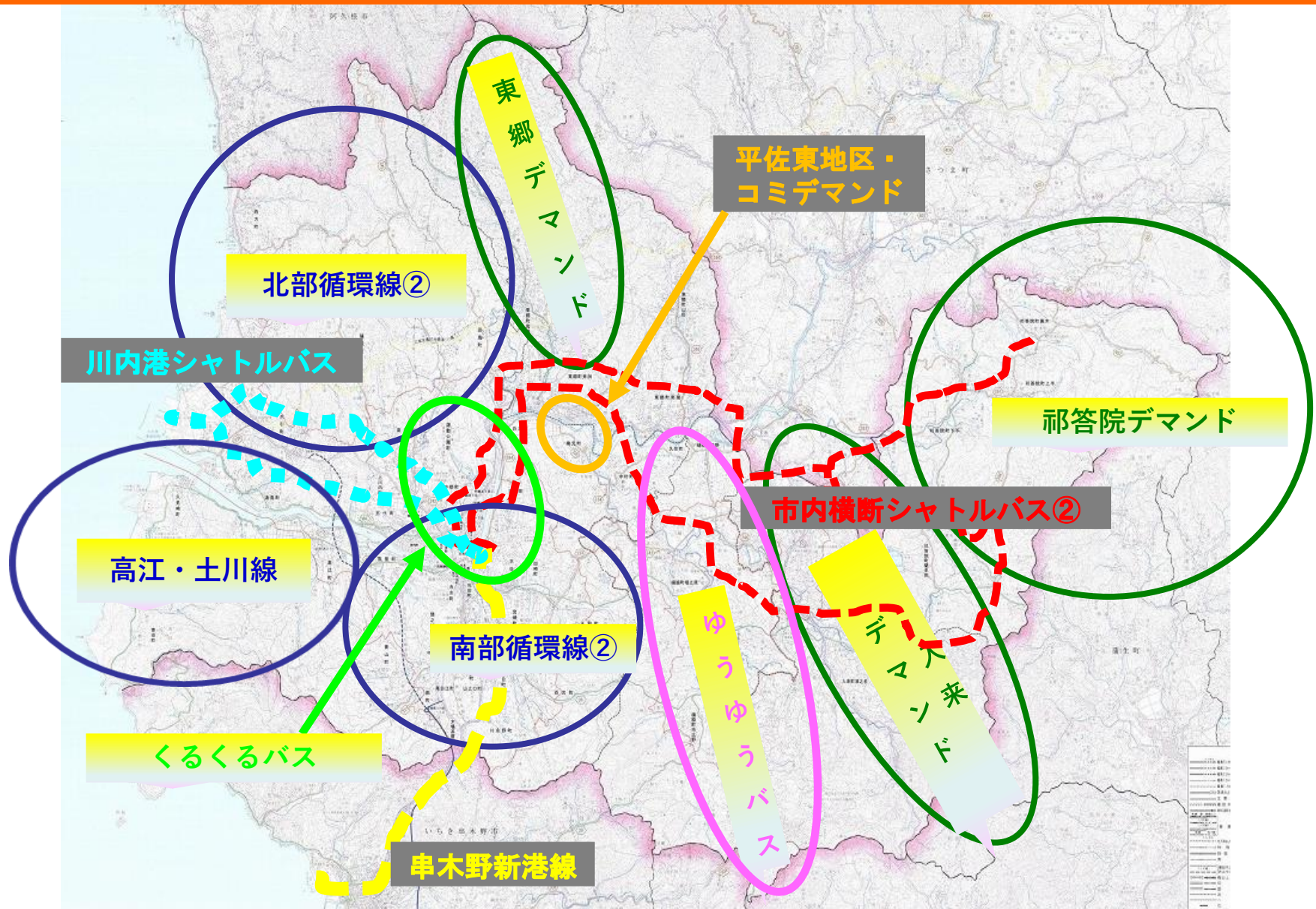


2 地域公共交通の現状／交通体系



(鉄道) 九州新幹線
JR九州鹿児島本線
肥薩おれんじ鉄道
(航路) 甕島商船
(民間路線バス) 鹿児島交通
南国交通
JR九州バス
(コミュニティバス、デマンド交通) 13系統

2 地域公共交通の現状／コミバス等 本土



2 地域公共交通の現状／地区コミ・デマンド

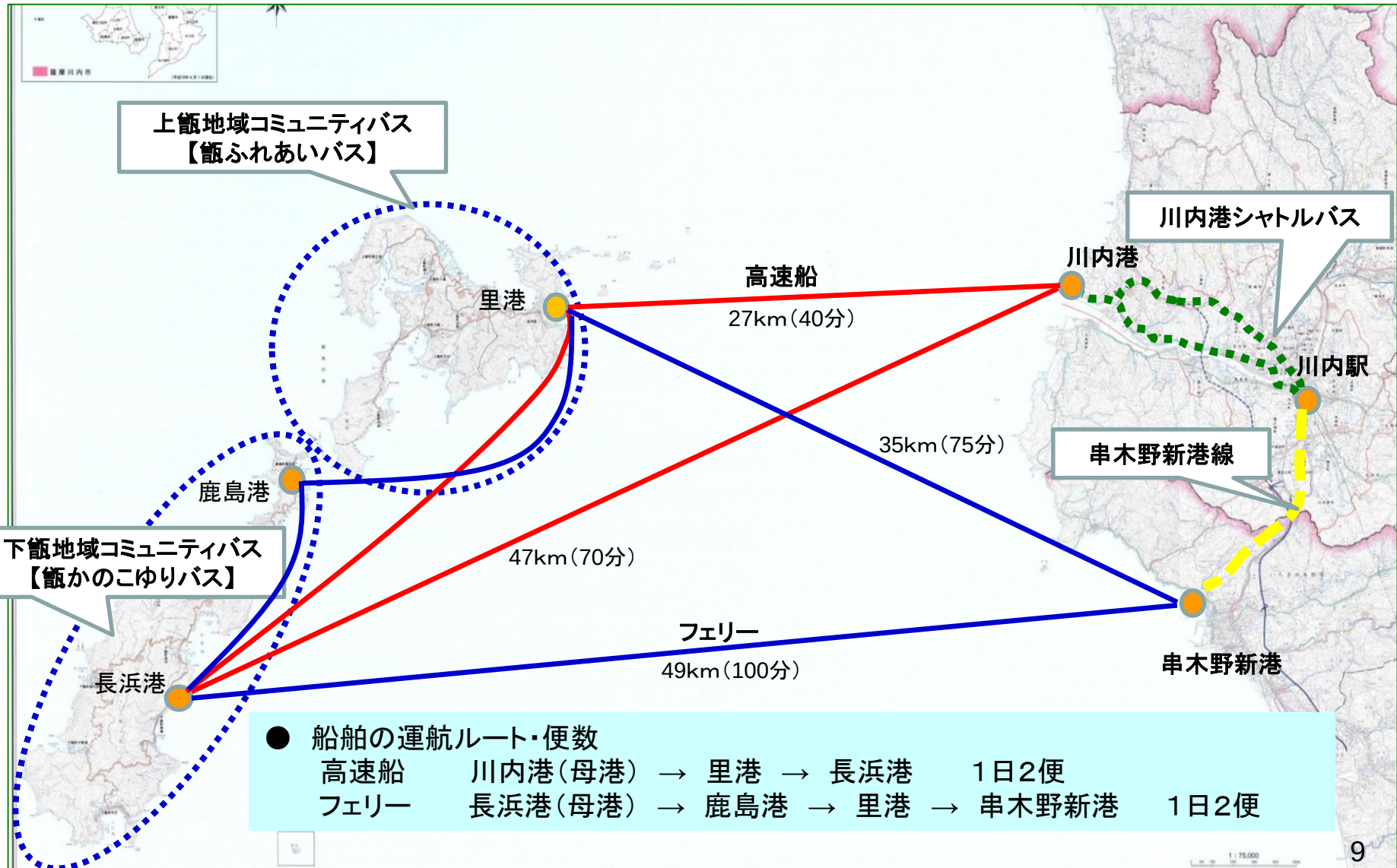
- **目的：**交通空白地の解消
- **概要：**地区コミュニティ協議会（概ね小学校区単位）が運営主体となり、タクシー会社とデマンド運行契約を行う。
会員は、自宅から最寄バス停間の乗車が可能。
- **運行主体：**平佐東地区コミュニティ協議会（以下、「コミ協」）
- **運行事業者：**地元タクシー事業者（コミ協と委託契約）
- **運行日等：**曜日、時間帯の制限なし
- **予約：**前日（9時～15時）までにコミ協へ予約
- **料金：**1回200円。コミ協からチケットを事前につけておく。
- **補助：**市が必要経費の2分の1と事務手数料を補助する。
- **その他：**平成23年6月以降、平佐東地区コミュニティ協議会のみ運行。



2 地域公共交通の現状／コミバス 甕島



2 地域公共交通の現状／本土～甕島



川内甕島航路の開設 [1]

①ハード面の取組み

ア 高速船の建造(市、鉄道運輸機構、1, 365百万円)

船 名	高速船甕島	高速船シーホーク
全長	45.7 m	48.5 m
幅	7.0 m	8.2 m
総トン数	197 トン	304 トン
定員	200 名	301 名
船員	4 名	5 名
航海速力	26.7 ノット	26.5 ノット
減揺装置 等	フィンスタビライザー アンチピッチングフィン トリムタブ バウスラスター	フィンスタビライザー アンチピッチングフィン

- ◆利便性・快適性の向上
回転椅子、テーブル、大きな窓、デッキ、木のぬくもり、デザイン、減揺装置
- ◆バリアフリー対策
車椅子スペース、多目的トイレ、スロープ、多目的室、点字案内板、音声情報機能付き運航情報モニター
- ◆効率化・省力化対策
小型船舶の建造、船員減、LED照明
太陽光発電



川内甕島航路の開設 [2]

イ 港湾施設整備(県、市、1, 180百万円)

○川内港ターミナル(市、242百万円)

構 造:木造平屋建て(一部越屋根)

延床面積:298.77m²

建築面積:408.58m²

○川内港(県、804百万円)

(浮棧橋)L=55.0m, W=10.0m(鋼コンクリートハイブリット)

(連絡橋)L=33.5m, W=3. 0m(鋼製プレートガーター)

(泊 地)ー3.0m

(航 路)ー4.5m

○里港・長浜港(県、134百万円)

(人道専用橋)L=20.3m, 標準幅員2.0m

◆利便性・快適性の向上

回廊、売店・カフェ、木のぬくもり、デザイン

◆バリアフリー対策

多目的トイレ、スロープ、点字ブロック、
手摺り



川内甕島航路の開設 [3]

ウ 電気バスの導入(川内港シャトルバス)

- 全 長:11.065m 全 幅:2.495m
- 全 高:3.475m 床構造:ノンステップ
- 定 員:乗車定員68名(乗客席数 25席)
- 充電方式:プラグイン方式
- 電池容量:93.24kwh
- 最高時速:85km/h
- 1回充電時の走行可能距離:通常時80km
- 急速充電器:一式
- 運行区間:川内駅～川内港ターミナル
- 運航便数:1日4往復
- 運 賃:150円



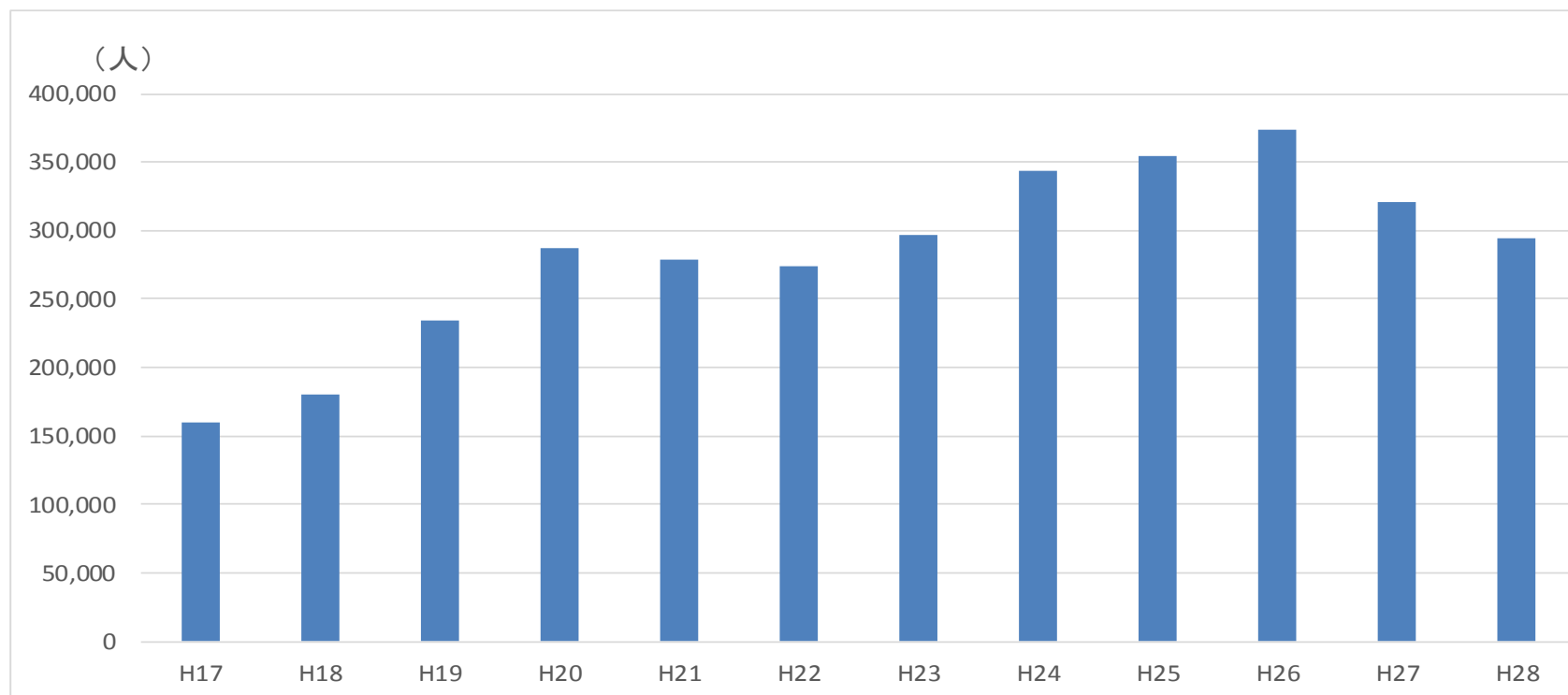
- ◆利便性・快適性の向上
シャトルバスとコミュニティバスの2機能
150円バス、低騒音・低振動、低炭素、
- ◆バリアフリー対策
ノンステップ、車椅子スペース、スロープ
- ◆災害時に緊急電源車両として活用
インバーターを接続することで2kwの電源となり、避難所での緊急電源車として活用可能

2 地域公共交通の現状／コミバス利用者実績 [1]

名 称	平成28年度 乗客数	1便あたり 平均乗車人数
市内横断シャトルバス	25,028	5.7
くるくるバス	87,546	9.6
北部循環バス	51,048	10.0
南部循環バス	19,749	5.1
高江・土川線	22,090	5.9
串木野新港線	7,762	5.3
川内港シャトルバス	17,224	5.8
ゆうゆうバス	11,684	2.2
入来地域デマンド交通	1,914	1.9
東郷地域デマンド交通	5,344	2.4
祁答院地域デマンド交通	1,172	1.9
甕ふれあいバス	24,688	1.4
甕かのこゆりバス	18,715	1.3
計	293,964	—

2 地域公共交通の現状／コミバス利用者実績 [2]

年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
(人)	160,221	179,955	234,049	287,420	279,226	273,538	296,433	343,407	353,902	373,897	320,164	293,964
		★1	★2			★3,4,5		★6,7		★8	★9,10	



- ★1 林田バス撤退により、南部循環線、高江・土川線、串木野新港線を廃止代替バスとして運行開始(平成18年11月～)
- ★2 北部循環線の運行開始(平成19年11月～)
- ★3 入来地域デマンド交通の運行開始(平成22年7月～)
- ★4 65歳以上の免許返納者に対し運賃半額を開始(平成22年10月～)
- ★5 市内横断シャトルバスの運行開始(平成22年11月～)
- ★6 甕島地域の公営企業を廃止し、甕島地域コミュニティバスの運行開始(平成24年4月～)
- ★7 東郷地域デマンド交通の運行開始(平成25年1月～)
- ★8 川内港シャトルバスの運行開始(平成26年4月～)
- ★9 運賃を100円から150円に改定(平成27年4月～)
- ★10 祁答院地域デマンド交通の運行開始(平成27年7月～)

3 地域公共交通網形成計画／課題

課題

1. 利用者のニーズに対応した地域公共交通体系の確立

- ・ 効率的な接続、運行便数の確保
- ・ 交通空白地の存在
- ・ 観光客への配慮

2. 各種交通機関の効率的な運行

- ・ 路線の重複
- ・ 利用の少ない路線

3. 円滑な乗り継ぎと待ち合い環境の改善

- ・ 種類の異なる交通機関の乗り継ぎ
- ・ 乗り継ぎ拠点の待ち合い環境

4. 地域公共交通利用環境の改善

- ・ 運行ダイヤの適正化
- ・ 情報提供
- ・ バス停等の環境整備

5. 地域公共交通に関係するみんなが一体となった取り組み

- ・ 住民の意識醸成

3 地域公共交通網形成計画／将来像、基本方針

地域将来像

期間：平成28年度～平成32年度（5年間）

《地域が目指す将来像》

人・地域の発展を支える地域公共交通網の構築

《地域公共交通が果たすべき役割》

- ・ 地域住民の安全・安心な日常生活環境の構築
- ・ 多極ネットワーク型コンパクトシティの形成
- ・ 地域の賑わい・活発な交流促進による地域発展

《基本方針》

- ① 地域の実情に応じた持続可能な地域公共交通網の構築
- ② 多様な交通機関が有機的に連携した地域公共交通網の整備
- ③ まちづくりと連携した地域公共交通網の形成
- ④ 地域内外の交流を促進する地域公共交通網の形成
- ⑤ 地域公共交通の利用環境向上による利用促進
- ⑥ 連携・協働による新たな地域公共交通のシステムづくり

3 地域公共交通網形成計画／施策・事業

施策・事業

● 地域公共交通の整備

1. 地域公共交通の見直し・再編
2. 交通空白地域の解消
3. デマンド交通の導入・利用促進
4. 市有バスの計画的な更新
5. 地区コミ・デマンドの普及・促進

● 運行ダイヤの見直し

6. 接続ダイヤの見直し
7. 運行ダイヤの見直し

● 乗降施設の充実・改善

8. 乗り継ぎ拠点の整備
9. バス停標柱の集約
10. バス停名称・デザインの統一
11. バス停の維持管理

● 情報提供の改善

12. 乗り継ぎ拠点での情報提供の充実
13. ホームページなどによる情報提供
14. 市全域の地域公共交通路線図の更新
15. 観光客への情報発信の強化

● 利用環境の改善

16. 乗り継ぎ券制度の充実

● 市民の地域公共交通に関する利用意識の醸成

17. 運転免許自主返納制度の推進
18. 市民との意見交換の実施
19. 地域公共交通出前講座の実施
20. 地域と連携した地域公共交通利用促進策の実施
21. モビリティマネジメントの啓発
22. 地域公共交通だよりの発行

4 網計画策定後の取り組み／再編ネットワーク案作成

■ 本土地域のコミュニティバス再編案（素案）の作成

網計画策定時の調査、民間路線バス乗降調査を集計・分析し、運行系統・ダイヤ等の再編案（素案）を作成

■ 地域検討会

- ・ 地域代表者（公共交通利用者等）による地域検討会を開催
- ・ 本土部分を6地域に分け、各地域の再編案（素案）を協議



⇒ 地域公共交通活性化協議会で承認

⇒ **再編ネットワーク案決定**

4 網計画策定後の取り組み／各系統の再編

■ 再編スケジュールに沿って、年次的に系統の再編を実施

薩摩川内市地域公共交通ネットワークの再編スケジュール

平成29年2月5日現在

系 統	見直し内容					見直し時期											
	ルート	ダイヤ	バス停	デマンド	区域 運行	H29			H30			H31			H32		
						区分	協議会	時期	区分	協議会	時期	区分	協議会	時期	区分	協議会	時期
市内横断シャトルバス		○				実施	H29.8	H29.11	－	－	－	－	－	－	－	－	－
くるくるバス			○			不可	H29.8	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
北部循環線		○	○			実施	H29.8	H29.11	－	－	－	－	－	－	－	－	－
南部循環線	○	○	○			－	－	－	実施	H30.6	H30.11	－	－	－	－	－	－
高江・土川線	平成28年度にダイヤを変更済					－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
串木野新港線	再編予定なし					－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
川内港シャトルバス	再編予定なし					－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ゆうゆうバス				○		－	－	－	準備	H30.12	－	実施	－	H31中	－	－	－
入来地域デマンド交通	○	○			○	準備	H30.1	－	実施	－	H30.4	－	－	－	－	－	－
東郷地域デマンド交通	○	○				実施	H29.8	H29.11	－	－	－	－	－	－	－	－	－
祁答院地域デマンド交通		○				－	－	－	実施	H30.6	H30.11	－	－	－	－	－	－
甌ふれあいバス	未定	未定	未定	未定	未定	－	－	－	調査	－	－	準備	－	－	実施	未定	H32中
甌かのこゆりバス	未定	未定	未定	未定	未定	－	－	－	調査	－	－	準備	－	－	実施	未定	H32中

■ 実施済み

4 網計画策定後の取り組み／出前講座〔1〕

■ 出前講座

自治会、高齢者サロン等を訪問し、地域公共交通の実情をお話しし、利用方法等の質問や公共交通全般へのご意見を伺う。

レベル1:待ってみたが...

広報紙等によりP R



⇒ 申し込み**ゼロ**

レベル2:代表者会議で！

自治会代表者の会議でP R ⇒ **2～3割**の団体から申し込み



レベル3:直談判！！！！

高齢者サロン等の代表者に直接電話でPR



⇒ **7～8割**の団体から申し込み



わかったこと

果報は寝て待つな！

4 網計画策定後の取り組み／出前講座 [2]

♪ 思わぬ効果も！

出前講座に合わせて、地域公共交通を利用した1日遠足を提案したところ、平成28年度以降、10～20名の団体による5組以上の利用があった。



- 公共交通の利用促進
- 買物・食事等による地域経済活性化
- 参加者の健康増進



4 網計画策定後の取り組み／地域公共交通だより [1]

- **内容：**路線変更、ダイヤ変更、各地域の取り組み、お得情報など、地域公共交通に関する身近な情報を発信
- **発行時期：**年4回（4，7，10，1月）
- **仕様：**A4、両面刷り、カラー、1000部
- **配布先：**公共施設、医療機関、商業施設、金融機関、温泉施設
※ 市ホームページ（「トップページ」－「暮らす」－「のりもの情報」－「薩摩川内市地域公共交通だより」）に掲載
- **作成、印刷：**市担当者が原稿を作成し、業者が印刷
- **特徴：**地域に密着した公共交通関連の記事を多く掲載
- **苦勞する点：**予算を抑え、担当者が記事作成しており、マンネリ化を懸念している。

4 網計画策定後の取り組み／地域公共交通だより [2]

(おもて)

薩摩川内市地域公共交通だより

冬号
平成30年1月発行
(第6号)



【薩摩川内市地域公共交通だより】は、「薩摩川内市地域公共交通網形成計画」の事業の一つとして発行しており、本市の地域公共交通に関する内容を掲載しています。

発行してから1年半がたちましたが、「あの公園に行くにはどの路線を使えばいいの?」、「休日に楽しめるモデルコースはないの?」といったご質問にお答えしていきたいと思っておりますので連絡をお待ちしております。

入来小学校でバス教室を開催しました

12月9日(土)、入来小学校3年生と4年生の計42名による、今年度2回目のバス教室を開催しました。

鹿児島交通とJR九州バス様にご協力いただき、バス乗車マナーなどの座学、周辺道路を利用した路線バス乗車体験、車内利用者のバス乗車方法など、バスに関するいろいろなことから学びました。路線バスの車内に初めて乗車した児童も多く、バス共通乗車カードや乗降の使い方、降車ボタンを押すタイミングなど、実際の利用にあわせた学習をすることができました。

教室終了後は、「バスのエンジンルームを見ることができて面白かった。」「機会があれば路線バスに乗ってみたい。」などの声がかれました。



公共交通の説明



バス乗降体験中



両替機を使った乗車支払いを体験中



車内利用月割を乗せているところ

(うら)

地域公共交通の出前講座を開催しています

高齢者サロン等の集会において、本市の地域公共交通や各地域を巡回するコミュニティバスなどの利用方法を学ぶことができる出前講座を開催しています。

これまで以上に地域公共交通に親近を持っていただき、1度でも多く乗車していただくことによって地域公共交通を一緒に支えていきましょう。

なお、出前講座の開催を希望されるときは下記連絡先へお問い合わせください。



高齢者サロンのサロンを
利用した出前講座の様子

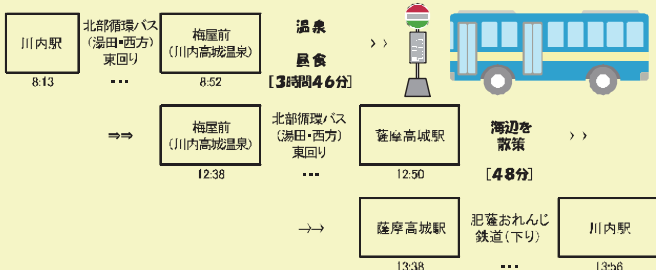
肥薩おれんじ鉄道と北部循環線を使って川内高城温泉と薩摩高城駅を楽しもう!

昨年11月に川内高城温泉の最寄り駅である薩摩高城駅にバス停を新設し、肥薩おれんじ鉄道とコミュニティバスの北部循環線(湯田・西方コース)を乗り継ぐことができるようになりました。

今年は明治新150周年で、NHK大河ドラマ「西郷どん」もスタートしましたが、川内高城温泉は西郷隆盛も訪れたという逸話も残っています。

ここでは、薩摩高城駅周辺と川内高城温泉が楽しめる公共交通の乗り継ぎプランをご紹介します。

【川内駅発着】温泉・昼食を楽しんで、海辺を散策するコース



発行：薩摩川内市地域公共交通活性化協議会（薩摩川内市商工観光部交通貿易課内）
〒895-8650 薩摩川内市神田町3番22号
TEL 0996-23-5111（内線4392）FAX 0996-20-5570
E-Mail kotsu@city.satsumasendai.lg.jp

4 網計画策定後の取り組み／バス教室 [1]

■ 小学生を対象としたバス教室を開催

モビリティマネジメントの一環として、小学生を対象に、バスの乗降方法・乗車マナー等について、座学・乗車体験を行った。



4 網計画策定後の取り組み／平成30年度の予定

1 甌島地域の地域公共交通ネットワーク再編調査事業

平成32年度中の藺牟田瀬戸架橋完成後の地域公共交通ネットワークについて、現在の公共交通の状況把握を行い、公共施設の統廃合等も考慮し、地域公共交通の運行体制のあり方も含めた抜本的な対応策を検討・提案する。

2 コミュニティバス1日フリー乗車券の発行

コミュニティバス（デマンド交通含む）1日乗り放題のフリー乗車券を発行する。系統の異なるコミュニティバスも乗り継ぎ可能とすることで観光客等を含む多くの層に興味を持っていただく。

3 コミュニティバス無料乗車デー

バスの日（9月20日）の近くで開催されるイベントに合わせ、コミュニティバスに無料で乗車できる日を設け、普段コミュニティバスを利用しない方にも利用を呼び掛け、利用促進を図る。